

反派兵闘争の前進を

りく
よづ
（一）

歩」と強弁して、中南米の反米民族運動、とりわけその武装展開の鎮圧を全面援助することと軌を一にしたアメリカ帝国主義の「新世界秩序」確立にむけた宣戦布告であり、帝国主義列強に対する動員指令である。われわれは、こうした「湾岸戦争」以降顕在する国連を横杆とした民族の自主、自決を求める民衆の決起に対する大國の干渉、とりわけ帝国主義の武装解放闘争に対する介入と

われわれは、こうした「湾岸戦争」以降顕在する国連を横杆とした民族の自主、自決を求める民衆の決起に対する大國の干渉、とりわけ帝国主義の武装解放闘争に対する介入と

他の民族支配の強化と真向うから対決し、被抑圧民族の民族自決・解放の闘いと連帶することのできるプロレタリアートの國際反撃布陣

の形成に全力をあげなければならない。そして、わが国のプロレタリアートにとつてこの革命的任務を完遂

する闘いの中核に、PKO法粉碎・日本軍撤兵、PKO解体の闘いが位

置していることをはつきりと確認しなければならない。

われわれは、先行的反革命戦争へと自らを駆りたてるのである。

われわれは、國連を舞台とした米帝の政治的軍事的

「新世界秩序」形成のうちに日本やドイツを始めとする帝國主義列強の反攻の

氣運を見てとることができ

るし、たしかに帝國主義の

不均等発展は、唯一の超大

国・アメリカの腐朽と経済

領域を表舞台とした列強間

の「争闘」を著しいものと

して何よりも、帝國主義

の平和を、プロレタリアー

ト・ブルジョアジーの階級

として何よりも、帝國主義

の打倒と世界プロレタ

リートの国际主義、そ

の核心問題として自國帝國

は、米帝とのグローバル

・パートナーシップ、すな

わち世界大に對象領域を拡

めに他ならない。このこ

とは、米帝との不戦と

・解放運動だということを

やつくりとさせなければな

らない。そして、この闘い

との連帯は、自國の不戦と

・和平を求める小ブルジョア

の連帯は、自國の不戦と

・和平を求める小ブルジョア

の連帯は、自國の不戦と